

神戸あれこれ

丸谷才一
え・津・高・和・一

神戸はぼくのいちばん好きな街の一つで、など

というとずいぶん詳しいみたいだけれど、なに、せんぜん大したことはない。今度で三度目か四度目じゃないかと思う。

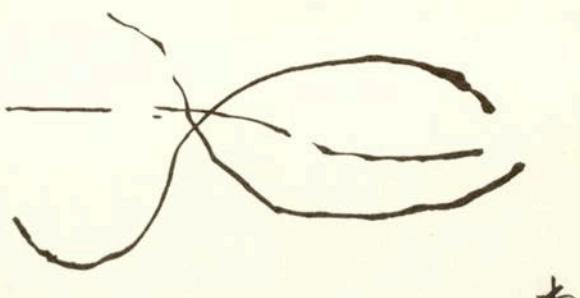
今度は、さる出版社の文学全集の「大岡昇平集」に添えられる「文学紀行」という変なものための取材で、これはいうまでもなく、大岡さんの長篇小説「酸素」について書かなければならないからである。ついでに記しておけば「酸素」は惜しくも未完になっているけれど、おそらく日本の社会小説の代表作で、もし完結していれば日本文学史にはなはだ重要な位置を占めていた作品に相違

ない。

そういう長篇小説なのに、今まで単行本のほかは刊行されていないくて、広い範囲の人々に読まれる機会がなかつたことを、ぼくはかねがね残念に思つていたのだが、今度の文学全集でその渴が医されるのは非常に嬉しい。

大岡さんはずいぶん長いあいだ神戸に住んでいらっしゃった方だから、まるで永井荷風が戦前の東京に對して取つた態度を思わせるくらいに、この港町の全貌を一つの長篇小説のなかに封じこめようと努力している。

ぼくが「神戸っ子」の岡本君という絶好の案内



役を得て歩きまわったのは、主として、メリケン波止場から第四突堤へかけて、金平町の帝国酸素本社（つまり元の帝国酸素の工場）、須磨の離宮公園のあたり、六甲のゴルフ場の四つなのだが、これは大岡さんの小説のなかの舞台の一部分で、これだけ見ても、いかにもこの地理を愛する作家にふさわしく、神戸の種々相を抑えようとしているかがよく判ると思う。

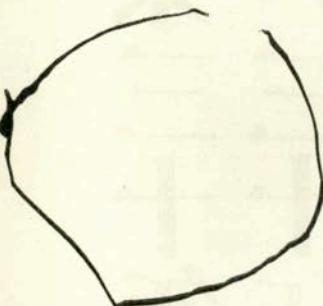
そしてぼくとしては、晴れた港も楽しいし、雨の六甲もなかなかよかったです。同じ雨の日に散策した離宮公園の趣が忘れられない。あの公園に乱れ咲いている薔薇の花の真紅は、ヴィクトリア朝の色彩感覚が（グルーム以来のイギリス人たちによって伝えられたせいだろうか）残っているように感じられた。それにあの公園は、区劃が変るごとに、ハイカラな感じから一転して急に日本調になつたりする、そういう変化の妙が大層おもしろかった。

神戸の夜のほうは、陳舜臣さんや日本ヘンケルの竹本進さんに案内していただいたが、牛肉の味魚の味のよさにすっかり満足した。食いしん坊の大谷崎が東京を捨てたのもわかるような気がしないでもない。もっとも文筆業者というものは、よほどの文豪にならない限りジャーナリズムと距離を取り暮しを立てるのにむずかしい商売だから、ぼくが神戸に移住する日はおそらくあるまいと思う。スマッジの東京で暮すのがぼくの運命であろう。

と書いて思い出したのだが、神戸という街の快さの理由としては、建物がせいの低いことと、通りの閑散なことをあげなければなるまい。通りを歩いていても、これだから気が休まる。そして本来ならば、そういう静かな風情こそは文明というものの一特徴なのである。この街の発展を願う立場とはおそらく相反するだろうが、ぼくとしては神戸の通りがいつまでも今のように、車の影も人間もまばらであってほしいと思っている。

そうそう、いい落した。神戸の女のひとのこと書くのを忘れてはいけないだろう。元町を歩いていたら、前をゆく二人づれのミニ・スカートの娘のうちの片方が、「開港場の女の言葉は荒いやねん」といつているのが耳にはいった。しかしその語調は、ぼくには、はなはだ甘い感じのものだったのである。

木



東京二十年 神戸二十年

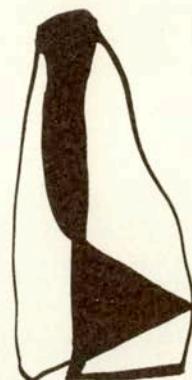
福富震一
え・津・高・和・一

江戸っ子の神戸観というものは、とかく言葉にすると刺があるものだが、神戸在住三〇年となると、東京からの流れ者のなれの果てというものの今や立派に神戸っ子となつて神戸の自然に抱かれているのだから、考えてみるとだらしない話だがこれはこれで結構面白い観察者になつたつもりだ一口に、神戸は海と山と緑の街だと表現するにしても、これが十年一日の如き口調であつては、いいかげん、神戸の住人としても鼻につく。実際海は後退はするが汚れ、山も退くほどに団地が林立し、新しい環境はできつゝはあるが、昭和十四年医者から転地療養の命をうけて、東京を後にしていた当時の、海からの穏んだ潮風と、山麓を吹き下ろす涼風に囲まれた、あの随分と柔らかい気候だなアと思った感じは、今日になつてなくいろうとしている。

三連隊から東京市の保健局に勤務、落ちつく間もなく昭和十二年十二月、日支事変と共に召集、

その転地療養というのが、なにしろ九死に一生を得た中支でのソ連兵狙撃による腹部貫通銃創という致命的なもののためであつたが、神戸の柔らかい気候が幸いするという医者の命による。

学校を卒えて一年志願の軍隊に行き、それが有名な麻布の第三連隊、少年兵の教育士官であつたこの連隊は二・二六事件に関係し、当時の少尉連中とは少なからず面識がある。兵舎は鉄筋で、伝え聞くところによると貴族しか行かれない立派なものであった。そして、これも後聞に属するが、私の親しいゴルフ仲間である作家の白川涅氏が同じ三連隊、それもほぼ同期だということだ。ともかくにも、三連隊には変った連中があり、今も交際しているのが多い。



中支一〇三部隊に配属されたが、これが単独卦任で、はるばる中支の部隊を求めて自費で応召した戦争を行った者は多いけれど、自腹を切って中支に足を踏み入れたのは私ぐらいいのもの、と懐旧談で口火を切ることがある。その結果が自腹に穴を開けることになった。機関銃隊長として死闘を踏み越えて行った先で迎えてくれたのが、麻布での見習士官の時、毛虫の如く嫌われていた教官で、なんとさそり大隊長の異名を持っていたが、私はビールを飲ませてくれるほどの歓待であった。

神戸はそれ以後の話になるのだが、転地療養の後、結婚して、知り合いが大阪で軍需工場をしていた関係で黒鉛るつぼの工場に勤務、しかし空襲の気配が迫まると神戸から通勤するのは危ないと止められ、伊丹の三菱電機に決まったが、これも反対、結局、一番近いところというので勤めたのが、当時三宮のクレセントビルにあった神戸製鋼本社で、これは徒歩通勤であった。やがて神戸工場の職員課課長代理で社員の給料計算をしていたが、なんとなく景気がよくて、オリエンタルホテルへ昼飯を喰いに行つたほどだ。元町はカフェといふ雰囲気であつたが、山手、加納町辺りには高級のムードで勝負するバーがあり、飲み物、飾りつけ一つにしても、東京と異なりいいものだった。そして、そういう女性ほど標準語を喋るせいか東京育ちの言葉もすんなり入つて行けたし、友達がいない神戸での夜を飲み歩いたものだ。しかし仕事に関しては厳格で、憲兵が私の後援者になるほどであった。

婦女子は何か職を手につけるべきだ、というのが戦時中から徹底して、これがオシャレとか洋裁

に向かい、戦後の各種学校のブームを興したようだ。同時に農家が豊かになり、郡部での婦女子教育の典型が洋裁となつた。『ドレスメーカー』を出した才媛と披露宴で紹介されるようになったのも戦後のブームを反映している。その結果、各地の各種学校に特異性が失なわれ平均化し、その社会的位置が低下したようだが、実は、最近のゲバ棒のおかげで再認識され、本当に生きがい、働きがいを求める人がくるようになった。この時に、女子教育も、全体の日本の教育の中で考え方直して、設置する学科を整理し、特色ある専科で社会に貢献することが、戦後の復興の雰囲気づくりに色を添えてきた女子教育界の課題だと思う。

弁護士が政治家になりたかった私が、戦後の神戸で明治を見つけることができず、はるか沖縄の石垣島で純粋な日本を発見してノスタルジアを感じたのだが、そういう沖縄の年寄の考え方では、今ではすでに内地ではない。そして、私は巨人、大鵬、玉子焼きという平凡な人間だけに、このたび六月二三日、教育功労者として藍綬褒賞を授与したが、新宮殿の春秋の間で陛下にお眼にかかると涙がこぼれた。これで都合三度お会いしたことになるが、昭和九年の天長節の折、代々木練兵場で大隊副官として馬上で拝謁した頃を想起すると、時代の流れをつくづく思い知らされたことであつた。

明石短期大学理事長
神戸ドレスメーカー女学院理事長



お中元に...

クールなおくりもの

メイプルカスター・プリン



北欧の銘菓

ユーハイム・コンフェクト

本社・工場 ■ 神戸市東灘区鷺洲町1 (市立美術館東隣)
TEL 22-1164・9865
三宮センター店 ■ 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン)
TEL 33-2421・4314
生田店 ■ 神戸三宮生田筋(錦上喫茶室)
TEL 33-0156・7343
さんちか店 ■ 神戸三宮地下街スイーツタウン
TEL 39-3558



世界の人々に

愛される

Kitamura Pearls

●
北村真珠店

元町通2丁目60 TEL 33-0072

★ヨーロッパひとり旅
<上>

。パリ・ニース

小泉 康夫

△写真も▽

パリのオルリー空港に降り立ったとき、やはり何とも落ち着かなかった。

とにかく、言葉の方は全然駄目、その上に初めての海外旅行なのだから落ち着けというのが無理なのだ。
一さっそく、マネーチェンジの窓口で“これ、ちいさうして”とやってしまう。むこうはちょっと困ったような顔をしたが、ちゃんと Franc に換金してくれるし計算も間違ってはいない。だが瞬間、これは大変な旅になると観念した。

ホテル・トロヨン、これがパリの宿。ここには幸いなことに日本語がわかる娘さんがいて万事、気楽くにやることができるほど助かったかわからない。

一もともと今度の旅行は、エール・フランスの招待であつたため、ちゃんとした心尽してホテルも選ばれていたのである。こんどの旅行のホテルで日本人が多くたのもこのホテルだつたし、若い日本人客といえばほとんどが J.C. メンバーで挨拶するのが大変なほどだった――

☆ ☆ ☆



シャンゼリゼ通りのカフェテリヤ

到着してからパリでの行動を決める。とりあえず、パリの市内一巡観光バスに乗る。

そして、びっくり仰天した。これは本音なのである。観光バスはパリの名所旧蹟をまったく遠慮なくさっさと一巡する。ひとつひとつを見て眼を回す余裕がまったくないままにあらかた回ってしまうのだから大変な心残りだったが、パリを知るためにには効果的だった。

このあと、足にまか

彼は若いせいもあって、余計に頭にきてたのかも知れないが。また、そのとおりなのでおかしくて困った。

公園の並木やベンチ、ご存知のセーヌ河の畔など、いや街のショッピングセンターの大通りでも、レストランでも若いカップルの愛情の交換は天真爛漫で、チユツチュッと鮮やかなキス。日本の若ものたちも最近、上手になってギコチナイ感じはしなくなつたが、まだほど遠い。

塔の広告塔



せて歩きまわつたのだが、この観光バスでの一巡が大いに役立つことを報告しておく。

パリ、やはりこの町こそは花の都の名にふさわしい。お世辞でもなんでもない。いまどきの言葉で「カッコイイ」のである。そのカッコのよさはやはり抜群で、しゃれたものである。

レストランのボーイから町の運転手、商店で働いている人、ビジネスマン、レディ、ボリスからホテルマンとみんなきちんとしている。質素だけどなかなかオシャレなのだ。

パリの楽しさのひとつはカフェテリヤなのだと思う。碧い空に見事に調和させた、濃いベニ赤のテントを張つて道に椅子が並べられ、そこにパリっ子が思い思いの姿でくつろいでいるのは、見るからに楽しい。

静かに、刻が経つのを忘れる見事なものである。

パリは、たまたま休日だった——そのせいか公園もまた格別人が多かった。

ホテルで一緒にになったのが「パリの女の子ときたら、首が長いのか器用に歩きながらキスしよる」といった。

商品は相当な値段だが、商品のデザインは見事なものだ。しかし、パリならではという商品は別にして、神戸の商品と比較して見て、神戸の商品が見劣りするように思はない。恐らく世界の商品を比較してもこれは同じことがいえるのではないか。

だが街の美しさは比較するすべがない。パリの街の美しさはパリに住んでいる人、一人一人が創り出している驚くほど調和のとれた美しさなのだとということに気がつ

く。パリは一朝にして生まれず

なのである。やはりパリは世界で一流の都だ。

ニースの空港から市内に近づくにつれて、懐かしい磯の香がして、青い海がそして、鷗が幾羽か群れて迎えて



ニースの海岸はビキニの花ざかり



ニースの宮殿の前で 小泉

くれた。それだけで旅の疲れがふっ飛んだようだ。

「カンナ」「ニース」「モンテカルロ」が南仏の海岸の町、コート・ダ・ジュールと呼ばれる避暑地なのである。バカンスの最盛期には大変な賑わいを見せる。そうだしども倍ほどに高くなる。そうだが私が行ったときはその期間にははいっていないので人出も少なかつた。

それぞれの町には何軒かの「カジノ」がある。一番豪華なのは「モンテカルロ」の「カジノ」といわれている。「カジノ」にも何回か足を運んだがおもしろいのは「ニース」の「カジノ」でこの「カジノ」は随分と古くさい感じだが市営の「カジノ」なのである。かけ金も少ないで気楽に遊べる。ニースもモナコも観光や遊びには快適な街である。……づく

△本誌編集長▽

涼しさを呼ぶ



ヒロタの シェアイスクリーム



洋菓子のヒロタ

元町店・三宮店・さんちか店・そごう店

服部のオリジナルサングラス

ユニークなデザインの
イタリア製豊富取揃



* 光の量に応じて色の濃さが変るレンズ

ニコンフォトグレー大好評発売中

* 度付サングラスが30分で出来ます

* ドイツカールツアイス・ローデンスト
ック社製新型フレーム新入荷

★
顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般

服部メガネ店

神戸・大丸前 TEL 33-1123

★ある集いその足あと

〔VIKING〕

廣重 聰



リ版刷、袋とじ、四八頁であった。
昭和四十二年七月の二〇〇記念
号編集後記で北川莊平は、「しば
らくたてばどろか、それから茫
々二十年。VIKINGは走るべ
き方角も、唱えるべき合言葉も、

いまだによくはわからぬままにと
にかくはしり続けてきたのであ
る。」と書き、富士正晴は「何も面
白くない、そして物資のない敗戦
直後、雑誌の紙もトウシャ版の原
紙も貴い集めであり、雑誌をとじ
る糸すら手に入らなかつた状態の
中で、トウモロコシの粉の主食を
食いながら、何の目的もなく出發

したのが、今や、何もかもある時
代がきて、そして今の方が何か初
期のころより、もつとこの世が面
白くない感じがしてならない」と
書いた。

そして、昭和四十四年六月には
二二二号が出る。維持会員の中に
は、創刊の年といわずそれ以後に
生まれた者もあり、かれらの作品
も載るようになっていて。とはい
え「文学雑誌VIKINGは自ら
の存続を唯一の目的として発行さ
れている。ちょうど、人がよく生
き、長く生きることを求めるよう
な」いうからにはべつに驚きあ
わてる要はないだろう。

特定のスローガンや主義主張は
ない。それでも強いて編集方針め
いたものをいうとすれば、悪作尊
重である。つるつるとすべっくく
てお上手な作品なら、VIKIN

Gにのせることはないのだ。悪作
は駄作ではない。この区別こそ大
切なところであり、きよしひ世間
で文運隆盛めいてはいても、どう
やらお上手やら駄作が多すぎるよ
うである。

現同人の顔ぶれは、たとえば芥
川賞・直木賞の候補になつた者を
拾うと、先の一人をはじめ、清水
幸義、島京子、津本陽、田中ひな
子、竹内和夫、山田稔などがい
る。もっとも、「賞」の実物とは
あんまり縁がなく、「ほんまにシ
ヨウのない集団や」というゆえん
である。

VIKINGの表紙には、VI
KING・CLUB神戸・東京と
印刷してある。このところぞーつ
と発行所は神戸以外だが、この神
戸は変えていないし、今後も変え
ないだろう。要するに関西をひつ
くるめて神戸ブランチであり、東
京とその周辺が東京ブランチとい
うことになっている。しかば本
部はどこだ、といえば、本部は富
士正晴だというわけである。「V
IKINGを継続発行するため
に、VIKING・CLUBがあ
り、VIKING・CLUBに生
氣を与えるためにVIKINGは
ある。」VIKINGは月刊で、
従つて毎月、神戸と東京で同日に
例会を開いている。

VIKINGは船出した。創刊同人は九人、
このうち現在も同人でいるのはキ
ヤブテン富士正晴をはじめ伊東幹
治、井口浩、広瀬正年の四人であ
る。創刊号の編集後記に富士正晴
は書いている。

「さて僕等はいやに値のかさばる
黄色の帆を張つてどちらの方角へ
出かけるのか。僕等の合言葉は何
か。それはしばらくたてば僕等に
も判つてくることだろう。僕等は
唯航海したいだけで船出する酔狂
さも少しは持ち合わせているが、
それだけでもないだろう」

黄色の帆というのは表紙に使わ
れた紙が黄色だったのである。ガ

攻撃型の企業活動を!

★神戸の有利な自然環境のもとで、神戸の街は、次々とプロジェクトを実現し、海空陸の交通革命と情報産業時代をむかえています。その中で、神戸青年会議所は、勇気ある実行団体として、神戸経済界に名乗りでました。本誌・百号にあたり、神戸JCである若手経済人に、神戸経済界の方向付けをしていただきたいと思います。

△編集部▽

牛尾吉朗
鳥越浩司
滝川博
寺居丈治
大窪朗

△ウシオ工業社長
△第五代神戸青年会議所理事長
△神戸オーブカル社長
△第八代神戸青年会議所理事長
△兵庫トヨタ自動車取締役
△現神戸青年会議所理事長
△土居自動車工業専務取締役
△現神戸青年会議所副理事長
△大窪鉄工所専務取締役
△現神戸青年会議所副理事長
△淡路屋専務取締役
△現神戸青年会議所副理事長

★今こそ、神戸経済の方向を決めるべきだ！

鳥越 これから神戸はどうなるのか、例えば観光都市になるのか、ショッピングセンターになるのか、港湾都市になるのか、それとも国際空港などができて情報センターになるのか、いろんな見方があるが、今の段階はそうあるべしとやっているのだけれど、はたしてそうなるのかという不安がある。身近な問題として商店街は三宮周

牛尾吉朗氏

鳥越浩氏

大窪朗氏



小企業だけでなく、大企業においても、本社を東京に移す会社が増えている。そして重役の執務はほとんど東京でなされているというのが現状です。今後そういう状態はますますふえるだろと思われます。神戸で生まれた会社が神戸だけでは消化し切れずどんどん東京へ流れしていく現状を考えると、神戸の若手経済人といわれてゐる神戸JCのメンバーである我々には、このままいいのか、何をなすべきか、という問題が投げ出されていますね。

牛尾 僕はね、本社が東京にあらうと神戸にあらうと変りはないと思っている。国際空港を淡路に造ろうという時期にあって本社が東京にあらうと神戸にあらうと大差はない。商店はいざ知らず、国際化の今、私の会社を例にとると、はっきりいって神戸ではほとんど仕事はしていない。東京、大阪がほとんど、あとは国外ですよ。ではなぜ、神戸に住んでいるかというと、住み易いからですよ。神戸に入る特典は何か。それは住み易いという一言だけじゃないですか。

鳥越 確かに仕事はほとんど大阪・東京でして、神戸には休息に帰ってきてる経済人が多いですね。

牛尾 地域性が無くなってきたということに神戸人が気がつけば、本社を神戸に移したりはしないはずだと思う。だからね東京情報センターに対して神戸情報センターを作れというのは神戸の地域性を深めるということではなく、西日本にそういうのが一つ必要である。それ

は神戸が一番場所的にいいのではないかということのためだけですよ。神戸に置けば、港もあるし、国際空港もできるということで、西日本の情報センターは神戸に設けるべきだと思うのです。

★神戸への愛着を具体的な経済活動で發揮せよ！

鳥越 ただね、神戸JC活動は地域問題に密着したものだから、まず地元・神戸の地位向上をはかるという意識がある。その場合どういう方向で地位向上を目指すかが問題だと思いますね。

大窪 神戸を考える場合、それは個人の気持のあり方の問題ですが、具体的にこうすればよい、という方向と決意が要るわけです。そうなると、神戸への愛着を気持の軸に持つていて可能になるのですね。神戸が好きだからという気持が、具体的な経済活動に發揮されるのです。

滝川 神戸への愛着は十分にあるが、仕事上、神戸を中心にして商業活動をしなければならない人達が神戸の現状に対して焦燥感というか不安を持っている場合があるから、神戸が嫌いなら出て行け、ともいえない。そういう人達をも引きとめる魅力を神戸が持つことが、神戸の経済発展の根本ではないでしょうか。

土居 それは行政の問題とも関連して難しいですね。

滝川 そう思いますね。都心づくり、副都心づくりといわれているが、地元民にはなかなか理解できなきことが多い。しかし、この事が神戸の経済活動の基盤ですよね



土居丈治氏



滝川博司氏



寺本潤氏

牛尾 神戸人を人種的に分けると、インディアンの人種だといってよい（笑）国際港都であるのに、案外と経済的問題に関しては排他的で保守的なのです。だいたい「神戸っ子」という雑誌が一〇〇号続くというのがその良い例ですよ（笑）神戸は伝統的によそ者を吸収することで成長してきた街なのです。それが、今になって、排他性がガンになってきた。その典型が、ダイエーでしたね。今や神戸のダイエーではなく、日本のダイエーですが

それが神戸に受け入れられるのには、いろいろと苦労があった。時代の波と共に生きることが大切ですね。この点、反省することが多いと思います。皆が田舎の名士でおさまっていれば神戸はある意味では住み易い街だ。
土居 それは今の経済界にはっきり感じられますね。

★陳地を築いて企業を攻勢に向けよう！

大窪 風土的なものからくるのかもしれません、何か厳しさが欠けてるようですね。現在の自分を守つておれぱという感じがします。他が出てくるのならそれ以上に自分も努力して出ていくとする気魄に欠けている。自分の城を守ろうとすることは、本当に守っているかどうか疑わしい。攻めることが、守りによりつながるのではないか。じゃんじゃん攻めていったらいいと思う。例えば百貨店が三宮に進出する話があるが、それがいい例だそのことによって、自分も敗けてはいかんという気魄が行動となって、そこに自分の企業の発展と、ひいては神戸の発展があるはずなんですが。

鳥越 たんに商店街だけでなく経済界にもあるのですね
牛尾 そう、その排他的というか島国根性が神戸の発展を妨げているのだね。これは日本全体にもいえることです。このことが結果的に、優秀な人材、企業を吸収することを妨げているし、又、神戸で成功するよりも、まず大阪、東京と立地を選ぶ人がでてくる。神戸が住み易いというのは、神戸ほど自然に恵まれていて、ところがなからだ。それを生かし、神戸で成長する企業を育てる

義務が我々にはあるのではないか。

鳥越 そうですね。経済界は、特に神戸の経済界はサロン化してはいけない。自由競争の中で、経済界がサロン化すると、排他的になつて発展がとまる。地元への愛着は、サロン化して語りあうのではなく、厳しい実行力を持つべきですよ。

牛尾 その通りだね。実行団体として初めて、地元に貢献できる。

鳥越 その殻を打破るのが神戸青年会議所でなければならぬ。それが神戸JCの絶えず追求すべき問題です。
牛尾 戦後が一つのチャンスだったね。ところが、その時の異邦人が、この二十数年間に、またインディアンになってしまった（笑）他の都市ではそれが打破られたのに神戸では残ったのです。神戸以上に島国根性で固まっていた姫路が、戦後の混乱のなかから立ち直つて、今日、外来者を受け入れる体制をもつていていますね。

大窪 神戸には、地域としては、又、自然環境にしても人を企業に魅きつける魅力は十分にある。この魅力をさらに伸ばすことが必要になつてきますね。
牛尾 確かに魅力はあるのだ。貿易センター、ポートアランド、国際空港、それに明石架橋に伴なう淡路開発と、神戸のプロジェクトは実現に向つて経済基盤をつくりつつある。その魅力に對して、神戸に経済力が集中してこようとしているが、それを神戸経済界がどう受け入れるか、その受け入れ体制が一步遅れているような気がするのです。その遅れを、これから埋めあわせるという課題が神戸JCCに与えられていると思う。あらゆる分野の青年経済人が集まり、しかも40才定年制で、毎年の新陳代謝がなされ、新しいエネルギーが得られると共に、活動的な現在に十分耐えうる組織を持っている。現在、メンバーが三百人を越しているが、サロン化しない心構えが大切ですね。

編集部 神戸貿易センターも今年暮れ完成し、いよいよ

神戸にも情報産業時代が押し寄せますが、これに対しても

経済界はどういう態度をとらねばならないのでしょうか。

牛尾 これは業種および感覚のレベルの差で考え方があ

れぞれ違ってきます。文化人といわれる人々と、我々經

済人の考える情報産業はちがうのですね。海外を廻って

見てきたことからいえば、日本は情報産業という点では

三年ないし五年の遅れがあるのは確かだと思います。海

外の情報産業というと、コンピューター・マイクロフィ

ルムが大いに利用されているが、それを受け入れるベー

スをつくることが重要ですね。

鳥越 去年の11月、アメリカ・ヨーロッパを廻ってきた
のですが、向うでは、本店と支店の距離がないのですね
木店にて、支店の状況が一目瞭然に分ります。コン
ピューターがはじかだすのですね。だから木店で一括管
理がなされる。予算評価、発注から納入までコンピュー
ターがするし、各工程にコンピューターを使い、チエッ
カーレまでコンピューターが使われている。給料計算も
そうです。ただ日本でコンピューターを使用する場合、
それを導入するためのベースをきちんとして、導入して
からの利益計算までなされないと、まだまだ問題が多い
でしようね。

牛尾 ヨーロッパ諸国においては国際企業化をどんどん

すすめているのですね。例えばドイツ、スイス、イタリ
ーに工場を持ち、スイスにセンターを設け、テレックス

で各国の工場に指示をしている。国家間における共同利
益追求のため情報交換を行なっているのですね。そうい

うことを日本の一企業で利用できる能力があるかどうか
が疑問です。日本の企業のベース自体が、まだ国際分業
化を必要とするところまできていないのです。今は、そ

のベースに達することが第一ですよ。アメリカでコンピ
ューター室に入ってくれといつても、コンピューターが

古いから見せるのが恥しいというのですね。そこまでア
メリカは進んでいるわけです。

鳥越 私が初めてコンピューターを見たのは昭和二十八

年でした。アメリカの小さなドラッグストアでIBM

のパンチカードを知ったのだから、それぐらい大きなギ

ヤップがあるのですよ。

牛尾 ドイツ人が、日本のカメラは世界一だという。日

本人は需要に応じてミニカメラを作るから。ドイツは伝

統の上に産業があるからそんなにたやすく時代に応じて
いろんなものを作れない。だが果して新しいそんなもの

が将来生きのびていいけるかが疑問です。日本では斜陽産

業といわれている織維産業も、伝統産業だからこそ完全

産業としてそれがいつまでも残る産業だ、と彼らはい

きっている。日本で今、光のあたっている産業は、いわ
ばアイデア産業だといっている。ドイツでは週休二日制

そして水曜日が半どんだ。それで人口が日本の半分で、
それが日本と同じだけの、それ以上の経済力を持つてい

る。要するに実質的な人間のレベルでしようね。

鳥越 情報産業は一方では合理化産業といえますね。だ
から合理化が実行されないと情報を生かすことができな
い。そうすれば利益があると思いながらも、それができ
ない状況にまだありますね。

★ 実行団体として評価の高い神戸青年会議所

大窪 神戸J.C.をシンボライズするものは何か、すなわ

ち神戸J.C.のシンボルは何かをはつきり示すことが具体的

的アクションに移る場合、必要となりますでしょうね。

土居 神戸J.C.の定年制は、一方では若さと情熱と勇

気、それに行動力のあらわれだから、第一に実行団体と

しての実績をつみあげていくことでしょう。エコノミック

アニュアルの感覚でなく、巾広い意味で、地域社会の奉

仕のために時には己を捨てて、犠牲の心で立ち向かう團

体に向かうべきだし、また、そう持っていきたい。

寺本 現代に応えるスピーディな情報とアクションを地

域社会に提供したいですね。

△ オリエンタル・ホテルにて

経済ポケット

ジャーナル



ては四隻目。世界最大の船出力ディーゼル機関を搭載し、最高速力二十六ノット

という超高速船。

九月末には日本郵船にひき渡され、豪州航路に就く。

ところで輸送革命として脚光をあびているコンテナ船で、日本(神戸)に寄港している船の数は表のとおりだが、今年から来年にかけて、あらたに邦船七隻をはじめ、マツソン四隻など

北米、豪州航路に続々登場し、戦域は欧洲航路にもおよぶけない。なかでも十四

のコンテナ船を保有する世界最大のコンテナ海運会社シーランドの動きが注目さ

めて、現在のコンテナ埠頭が小さいため問題を呼びそ

う。すでに約五十社が入居を希望しており、この共同ビルの完成によって、神戸の中小貿易商社の体質は大きく変化するだろうと各方面より注目を浴びている。

★神戸銀行九月から百八十億円に増資

神戸銀行では九月一日から、自己資本の充実と業務拡大に伴い、資本金を現在の百三十五億円から三分の一ふやして百八十億円に増資する。

これで同行は資本金でみると都市銀行中では、新しく都市銀行に加わった埼玉銀行(資本金百六十二億円)を抜き、協和、大和とならぶことになる。



神戸貿易協同組合の共同ビル予定図

★神戸貿易協同組合

共同ビル建設

神戸の中小貿易商社が団結、協業し、商社の近代化と合理化をはかり、激しい国際競争に打ち勝っていくことを心とする二十四社が神戸貿易協同組合(理事長竹内与四郎)を結成し、組合員の

一階、地上九階、延床面積約一五五二二平方米、共同電子計算機センター、エレベーター四基、三二台収容の駐車場を有する大きなもの。すでに貿易記念日の六月二十八日に起工式を済ませ、工事は来年十月末日をめざしてすすめられている。すでに約五十社が入居を希望しており、この共同ビルの完成によって、神戸の中小貿易商社の体質は大きく変化するだろうと各方面より注目を浴びている。

★日米コンテナ競争 いよいよ本格化

在来の七百五十個積みコンテナ船をひとまわり大きくした千個積みコンテナ専用船“箱崎丸”(日本郵船向け一九、九一〇重量)が六月十七日、三菱重工神戸造船所で進水した。同船は二十五次船(四十四年度)で建造される七隻のコンテナ船の第一船で、同造船所で進水したコンテナ船とし

曾根千賀子(19)
タキ商店営業課勤務

うことになつたが、その大きさがかりとして共同ビルを建設することになつた。この共同ビルは貿易業務に便利な生田区東町に位置し、総工費約十億円、地下

★KOBE オフィスレディ★



人気スターでは石坂浩二とピンキーのファンだという。何ごとも陽的ではがらかな性格。高校時代は宝塚歌劇團智わたるの熱狂的ファンだったそうだ。自下、週にお茶とお花一回、料理一回、英会話三回というハードスケジュールでがんばっている。しかも仕事は楽しいといふアヤタリティ溢れるお嬢さんだ。しかし時には仕事を稽古ごとも忘れてのんびりすごしたい気分にもなるそうだ。

長田区林山町在住 43年度夢野谷高校卒業

れている。

すでに二十六次船でも邦船大手各社はコンテナ船に力をいれ、船の大きさもさらに大きくなり、千七百〇二千個積み、三万~三万五

千シクラスのコンテナ船が計画されている。このため建設中、計画中のものも含めて、現在のコンテナ埠頭

が小さいため問題を呼びそ



より高い精度を
実現した
高振動自動巻腕時計

ロンジン
「ウルトラクロノ」



特 約 店



美 田 時 計 店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

太陽がいっぱい!



'69 リヤル
ハワイアン
ワテス

おしゃれな舶来サングラスも
豊富に取り揃えております。



神 戸 眼 鏡 院

元町店・元町3丁目 ☎③1212代表
三宮店・さんちかタウン ☎⑨1874~5

「本格派のおしゃれなあなたが好き」



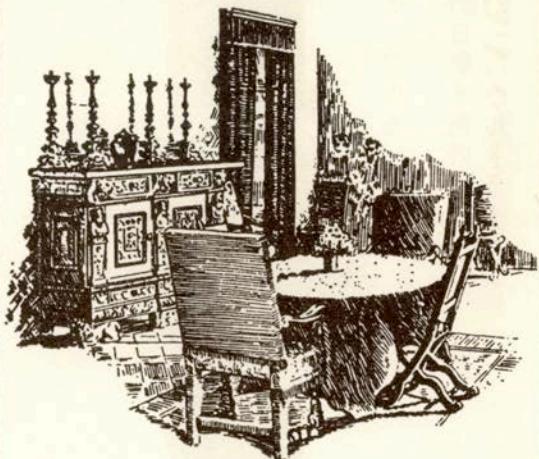
O-SHIBATA



柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸(39)3737(代表)
東京店・東急百貨店 日本橋店内 1階 03(211)0511
本店(渋谷)7階 03(462)3180

特集△○○号

創刊号から愛蔵しています

★愛蔵して欠号なし

藤本義一 △○○号

3号雑誌の言葉があるくらい、それを出しつづけるということはむづかしい。それ以上に、読者が読み捨てず、愛蔵してくれる雑誌をつくるということは至難だ。私は毎月、あるものは毎月決まつた雑誌を読むが、とりおいてあるのは「朝日ジャーナル」と明治屋の「嗜好」(これは季刊だが)そして「神戸っ子」だけ。そのなかでも「神戸っ子」は、創刊号から全冊がそろっている。ほかに「あまから」と「銀座百店」が創刊から最近号まで。これは大阪ミナミの古本屋・天牛書店と、神田の古書市で買ったものだが、いい値段だった。「神戸っ子」もこれから十年、二十年たてば、ピックリするような値段で古本屋へ出るに違いない。だが、私はそのときのために貯めているのではない。自分の役に立つことがあるだろうからだるもの書いて疲れたときなど、どちらも旧号を本棚から引き出して読む。たちまち私はふるさとへ立ち戻り、疲れを忘れるのである。

大好きな「神戸っ子」もこの八月でもう△○○号／本当におめでとうございます。同じ海と山に囲まれながらその性格をまるで異なる鎌倉に住む私が神戸という街の素晴しさとそこに住む方々の魅力にとりつかれてから何年になることでしょう。

一年に数回から十数回、暇をみては神戸にかけつけ、元町や六甲はもとより北野町や山本通を散策

し、海岸通りを歩き、須磨にまで歩をのばし、果ては早朝の山歩きの仲間に加えて頂いたりしているうちに、自分でも知らない間にチヨットした神戸通になってしましました。そして始めて神戸にきて、花時計を探すのにうろうろしトーア・ロードもセンター街も何もしらなかつた私をこれまでやさしくガイドしてくれた百冊のこの

市で買ったものが、いい値段だ

った。「神戸っ子」もこれから十年、二十年たてば、ピックリする

ようだ。だが、私はそのときのため

に貯めているのではない。自分の

役に立つことがあるだろうからだ

ものの書いて疲れたときなど、どちらも旧号を本棚から引き出して

読む。たちまち私はふるさとへ立ち戻り、疲れを忘れるのである。

アンケート



月刊・神戸っ子も、この8月号をもって△○○号を迎えることになりました。いままでいろいろとご協力いただいた方々に別項のアンケートをさせていただきました。
① 月刊・神戸っ子にどんなことを期待されますか。
② あなたが月刊・神戸っ子の編集者であれば△○○号からどんな企画をされますか。
③ 明るくて、モダンな編集をいつもおねがいします。
④ バラエティにとんでいますし、今までいたいと思います。

⑤ 若い人、年輩の人、主婦、などの交流の場、発言の場のようなものがあればとも思います。具体的にはわかりませんが……。

★阪本勝比古△○○号記念おめでとうございます。

まず△○○号記念おめでとうございます。

① まず△○○号記念おめでとうございます。
② あなたのユニークな文化雑誌としての活動を高く評価いたします。今後とも文化面に力を入れてください。

③ 神戸の発展は最近目覚ましいものがありますが、より住みよい町にするために、神戸

子ひとりひとりが果さなければならぬ問題がたくさんあると思います。お互いの親睦とよりよい町づくりのために、月刊神戸っ子の荷物割は必ずそこから出てくると思います。頑張ってください。

★遠藤周作△○○号記念おめでとうございます。

① いつもお馴染みです。申し分ありません。

② 私なら特報「神戸・うまいもの」号を出します。足で歩いてうまい店を(どんなに汚く小さくても)さがしてのせます。

★赤根和生△○○号記念おめでとうございます。

① いろいろな意味での広告誌からの脱皮を

△○○号

ノン・フィクション

期待します。

三谷佳子

時に憩を与えてくれるこの小さな雑誌は、私のこなき友よきガイドとなつたのでした。△在録倉

★神戸つ子

百号おめでとう

喜多山洋子

△主婦▽

創刊号より今もつてファンであると言ふこの本の魅力は一休どこの一番あつたのかしら。

手の届きそうな近い位置にある方々でありながら仲々その所信を伺い得ない人物への、インタビューや新しい物を常に貧欲な程求める神戸つ子のセンス。そして何よりも、うまい物好きである郷土民の嗜好のそれらがピッタリとまとった本でした。正直いってパットしない号の時もあり、はつとする程眼を開かせられる鮮かなページ掲載の号もあり、それ故に来号への夢また消えやらず何をかいわんやでたのしく心なごむものがありました。

ただ、毎号待つ身になつてみれば広告の掲載をどの月も同じ形の写真を載せられるには少からず「ヘキエキ」。もう一考願いたいところです。希望はと尋ねられたら、神戸における誇るべき、すてきな方達、話して魅力あるマダム、マスコミに乗るを好まぬうまいもの屋等を僅か一頁だけでも掲げて爽やかな、よろこびを時には味わせて頂きたいものです。

★神戸つ子のよりどころ

小林延光

△元町バザーヴ

東京の私どもの店でも『神戸つ子』のファンはたくさんあります。毎月、東京店でキッチンとお渡します。いかいに神戸に関わり

あるのある方が多くて、その方々は、神戸を非常に懐しがつていらっしゃる。「神戸つ子」も、初号からみると、今発行されている雑誌は、雲泥の差。こういう類いの本の中では完成しているんじゃないですか。それに執筆される人々も、スタッフも初号から貫して、それが一つの持味になつていますね。書かれる方も、外国へでると、また帰ってきて書くといつたぐあいに、よりどころにしていらっしゃる。良いですね。

まあ、私たちのグループがスポーツサードとしても頑張つたので続いたのですから、これからもスポーツ人として育てるのだという意気で続けて頂きたいと思います。

△ハングルグにて▽

★楽しい神戸つ子の

岡本玉治

△鉄鋼業▽

神戸つ子百号をお迎えになること、全くおめでとうございま

す。妹都提携をした幾つかの都市と毎年通信で交換、大きなビジョンでユニクな記事(市役所や新聞社にマホのできないもの)を載せます。

★藤本義一△コピーライター▽

すでに期待に答えている。まったくすぎている。強いていえば抜けたところのないのが不満。(ゼイタクいう声あり)

②どのテーマもが連続なのは、安定すぎてしまつてハブニングがない。単発の企画をたてるなり執筆者を毎回変えるようなスペースもあれ

ないと思う。個人的には一度書き写りいいから戦前のバーチのことを誰かに書いたら戻らはしない。となると、バーチの何かのものにおきかえることもできるのでは:

・東京などに行つてしまつた神戸つ子は?・表紙に用いた小堀先生の作品展

★小泉徳△小泉製麻社長▽

モウ少し底辺に近い人達、例えば、手前味曾で恐縮だが当社の如く全国各地から来る若い人の神戸親を座談会で紹介するとか

B.G.、港湾労働者、鉄道員、バーチ勤務者、寺の話。それから、神戸在住の隠れたスペシャリスト、芸術家等の人達を探して、判り易い話を掲載し、読者層を広める

★楠本吉△俳人▽

①関西では、地区PR誌が育ちにくくと聞いています。よくぞ一〇〇号まで頑張られたと思います。地区PR誌不毛のジンクスを打ち破つてください。

②神戸の24時間午前0時の生田筋

△1時の三の宮

△2時の?

△3時の?

グラフィックに俳句、詩、短歌入りで紹介する。

★小林芳夫△兵庫県教育委員長▽

①神戸らしいカラーライをもつた記事内容を期待すると言つても無理でしょう。新しい企画のもとに大いに发展して下さい。

②皆がよろこんで神戸つ子の発行を毎月待つて嬉しいようになるには大変ですが、そんなことを企画したい。

★安部正夫△オリエンタルホテル社長▽

①当分は、今ままのゆき方でよいのでは

